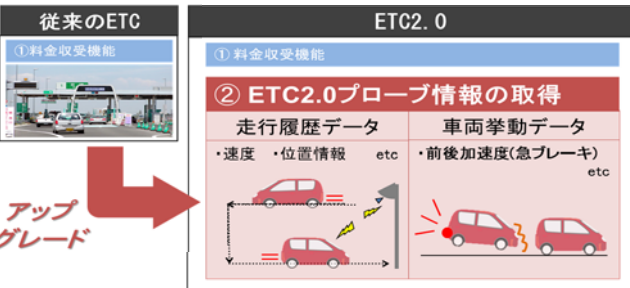


ETC2.0車両挙動データの活用による 渋滞対策効果の把握

背景

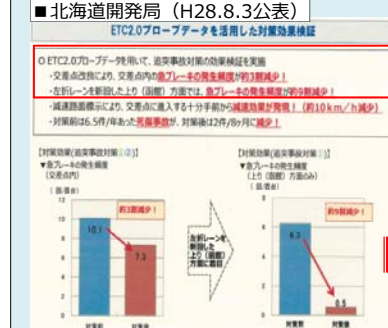
○ETC2.0プローブ情報とは

ETC2.0車載器を搭載した車両が、高速道路や直轄国道に設置されている路側機と無線通信を行うことによって収集される情報。



○車両挙動データの主な利用

「交通安全」の観点から活用
 ・危険箇所の抽出
 ・交通事故対策の効果把握



○車両挙動データの活用可能性

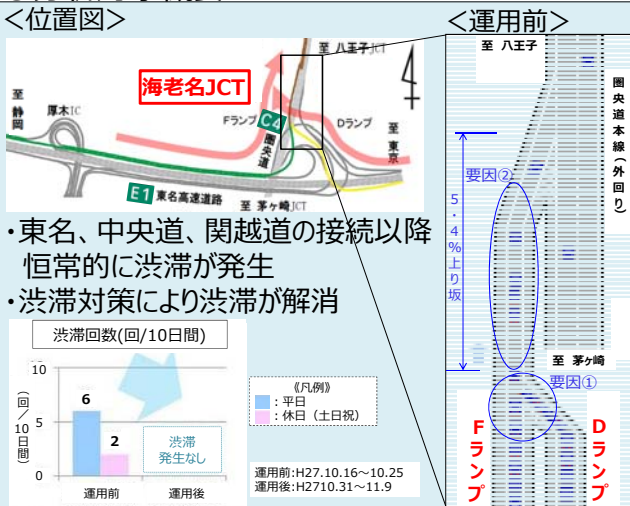
〈交通円滑化に関する既往研究〉
 ・高速道路サグ部渋滞は、**ブレーキによる減速波**が上流へ伝播することに起因

→渋滞対策の効果検証に車両挙動データ(急ブレーキ)が活用できる？

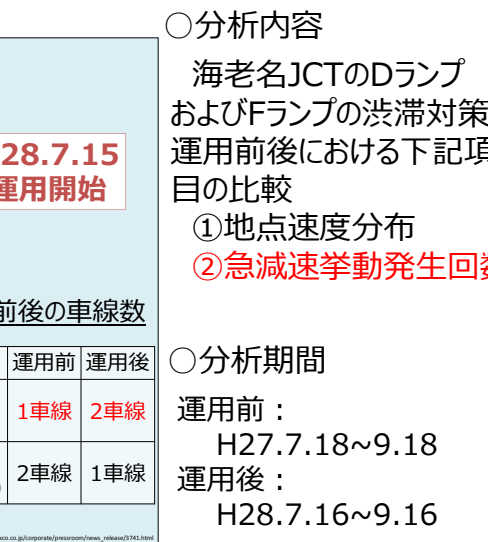
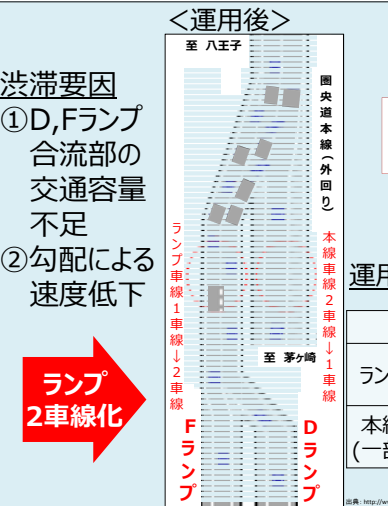
本研究のねらい
 ETC2.0プローブ情報**車両挙動データ**のピンポイント渋滞対策効果の把握への**活用可能性**の検討

分析内容

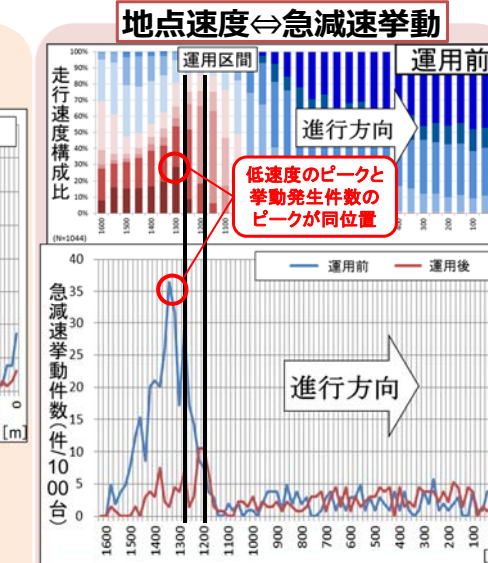
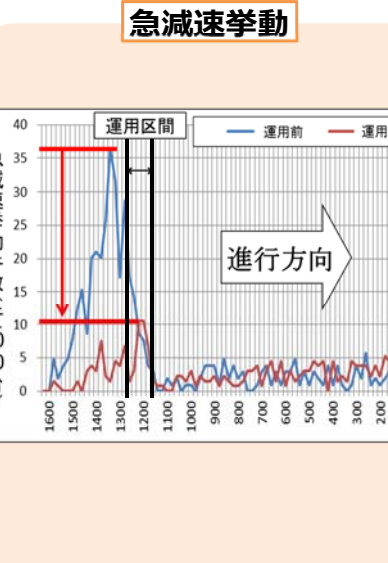
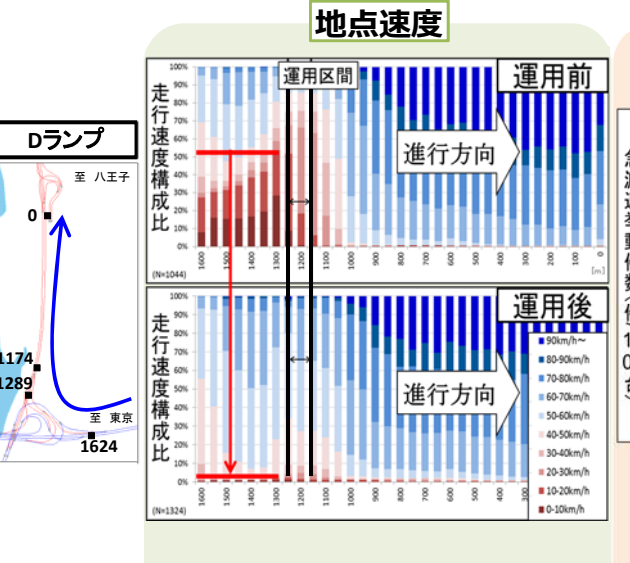
○分析対象概要



○分析内容



分析結果



まとめ

ETC2.0プローブ情報車両挙動データの渋滞対策の効果把握への活用可能性を示した。今後は、走行履歴データと車両挙動データを組合せ、渋滞の発生頻度や渋滞長の把握等、より詳細な交通円滑化に関する把握や分析方法を検討していく。